



Photostud

THE NEW ZEALAND TROPHY

第43回 ニュージーランドトロフィー (GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
 本 賞 54,000,000円 22,000,000円 14,000,000円 8,100,000円 5,400,000円
 付加賞 994,000円 284,000円 142,000円



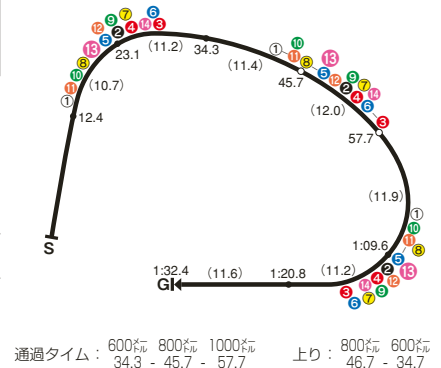
レース映像は
 コチラでご覧
 いただけます。

牡・牝、3歳
 負担重量 馬齢重量

2025.4.12 中山 晴・良 芝1600m (国際 指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑬	イミグラントソング	牡	3	57	石川裕紀人	1:32.4	10-9-9	33.1	482(-4)	5.5②	辻 哲英(美浦)	111
2	⑦	アドマイヤーズム	牡	3	57	川田将雅	クビ	4-4-3	33.9	476(+8)	1.7①	友道康夫(栗東)	110
3	②	コートアリシアン	牝	3	55	菅原明良	1¼	6-6-7	33.8	434(-6)	14.8⑤	伊藤大士(美浦)	103
4	②	プリティディーヴァ	牝	3	55	J.モレイラ	ハナ	8-8-7	33.6	464(-10)	6.4③	田中博康(美浦)	103
5	⑤	ミーントゥッピー	牝	3	55	松岡正海	1¼	8-9-9	33.7	432(-6)	167.0⑩	堀内岳志(美浦)	
6	④	ストレイトトーカー	牡	3	57	大野拓弥	1	3-2-3	34.8	472(-6)	28.3⑧	岩戸孝樹(美浦)	
7	⑥	ルージュラナキラ	牡	3	55	岩田康誠	ハナ	2-2-2	34.9	468(±0)	14.5④	加藤征弘(美浦)	
8	⑨	ジェットマグナム	牡	3	57	三浦皇成	1½	6-6-5	34.6	486(+2)	41.0⑨	安達昭夫(栗東)	
9	④	ルナルーチェット	牝	3	55	横山武史	½	4-4-5	34.8	416(-8)	22.9⑦	国枝 栄(美浦)	
10	⑩	シュバルツサマネ	牡	3	57	田辺裕信	クビ	11-11-11	33.9	456(-6)	238.0⑪	杉山佳明(栗東)	
11	①	チョングク	牡	3	57	丸田恭介	1¼	14-14-14	33.4	476(+2)	220.2⑫	南田美知雄(美浦)	
12	⑩	ムイ	牡	3	55	今村聖奈	½	12-12-13	34.1	458(-2)	17.1⑥	笹田和秀(栗東)	
13	⑪	アタラシイカドデニ	牡	3	57	吉田 豊	アタマ	13-12-11	34.0	504(-4)	141.6⑪	上原博之(美浦)	
14	③	ベイビーキッス	牝	3	55	原 優介	3	1-1-1	36.6	452(-4)	136.4⑫	青木孝文(美浦)	

単勝⑬550円(2¼) 複勝⑬150円(2¼) ⑦110円(1¼) ②220円(4¼) 枠連⑤-⑥360円(1¼)
 馬連⑦-⑬430円(1¼) ワイド⑦-⑬240円(1¼) ②-⑬540円(5¼) ②-⑦350円(3¼)
 馬単⑬-⑦1,320円(4¼) 3連複②-⑦-⑬1,060円(1¼) 3連単⑬-⑦-②5,740円(10¼)



アラカルト

- ・石川裕紀人騎手はニュージーランドトロフィー初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算10勝目
- ・辻哲英調教師はニュージーランドトロフィー初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算2勝目
- ・マクフィ産駒はJRA重賞通算4勝目
- ・枠連360円、馬連430円、馬単1,320円、3連複1,060円、3連単5,740円は各方式における本競走の最低払戻金額
- ・イミグラントソング、アドマイヤーズム、コートアリシアンはNHKマイルC(GI)に優先出走できる

イミグラントソング Immigrant Song

牡 鹿毛 2022.4.24生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・吉田勝己氏 美浦・辻哲英厩舎
馬名意味・移民の歌

シーズオールエルティッシュUSA系 F8-a

マクフィGB Makfi 鹿毛 2007	Dubawi 鹿毛 2002	Dubai Millennium
		Zomaradah
	Dhelaal 鹿毛 2002	Green Desert
		Irish Valley
エルノルテ 鹿毛 2011	ディーブインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	シーズオールエルティッシュUSA 鹿毛 2005	Elish
		Shesabullwinkle

5代までのインブリード：Danzig S4×M5

INTERVIEW

高見優也 厩舎長(ノーザンファーム空港)

勝ち負けの競馬になると期待していました

最初に跨った時には緩さが感じられました。急がないで進めていき、順調に調教メニューを消化してくれました。当時はダート向きの馬かもしれないと思っていたので、デビューしてから芝であだけ切れる脚を使ってくれたことは驚きでした。初の重賞挑戦でメンバーが揃いましたが、これまでのレースを見て勝ち負けの競馬になると期待をしていました。



A. Takeda

馬クフィ産駒の本馬はデビュー2戦目の未勝利戦を5馬身差で圧勝、暮れのひらぎ賞でもレコードで逃げ切ったデンクマールに詰め寄り(2着)、素質の高さをアピールした。年明け初戦の1勝クラス戦はスローの瞬発力勝負が合わなかった印象で3着に敗れたものの、ペースが流れた重賞で鮮やかに変身。及第点の走りは見せた2歳マイル王を鋭く差し切り、本番の有力候補に名乗りをあげた。

父マクフィGB

英、仏6戦4勝(英2000ギニー^{G1}、ジャックルマロワ賞・仏^{G1}、ジェベル賞・仏^{G3})、11年から英、新、仏、日で供用
〔代表産駒〕**ボヌヴァル** Bonneval(ATCオークス・豪^{G1}、ニュージーランドオークス^{G1}、アンダーウッドS・豪^{G1})、**メイクビリーヴ** Make Believe(仏2000ギニー^{G1}、フォレ賞・仏^{G1})、**マクファンシー** Mkfancy(クリテリウムドサンクルー・仏^{G1})、**ソフィアローザ** Sofia Rosa(ATCオークス・豪^{G1})、**マキーマーク** Marky Mark(マナワツサイヤーズプロデュースS・新^{G1})、**ニードルアンドスレッド** Needle And Thread(ロイヤルS・新^{G2})、**エクスパット** Expat(ATCミリーフォックスS・豪^{G2})、**イミグラントソング**(本馬)、**オールアットワンス**(アイビスサマーダッシュ^{G3}2回)、他に重賞勝ち馬多数

母エルノルテ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央26戦3勝
グランエスベランサ(18 牝父ルーラーシップ)中央3戦0勝、地方4戦0勝
リーセフィヨルド(19 牝父ハービンジャーGB)中央6戦0勝、地方29戦1勝(20 不受胎)
ハットルグリムス(21 牝父モーリス)中央2戦0勝
イミグラントソング 本馬(22 牝父マクフィGB)中央5戦2勝(ニュージーランドトロフィー^{GII}) 獲得総賞金67,974,000円
エルナト(23 牝父レイデオロ)
(24 牝父リオンディーズ)

祖母シーズオールエルティッシュUSA

北米3勝(ボニーミスS^{G2}、ブラックアيدスーザンS^{G2}2着、デラウェアオークス^{G2}3着、ジュディーズレッドシューズS3着)、09年輸入
アドマイヤオウジャ(10 牝父ディーブインパクト)中央4勝(比良山特別、万両賞)
エルノルテ(11 前出)
アドマイヤロワ(12 牝父ディーブインパクト)中央1勝
エルビッシュ(13 牝父キングカメハメハ)中央3勝(春振山特別、白梅賞)、トールキン ④(かささぎ賞)、ブルーサンセット ④(ききょうS^O2着)の母
アントリューズ(16 牝父ロードカナロア)中央3勝(江の島特別、ペゴニア賞)
ジャングルキング(18 牝父ドウラメンテ)中央2勝、地方2勝
サトノアインス(21 牝父ニューイヤーズデイUSA)中央2勝 ④

2歳マイル王を差し切り重賞初制覇

NHKマイルCのトライアル・ニュージーランドトロフィーを、朝日杯フューチュリティSの覇者が勝った例は2000年(当時は朝日杯3歳S)のエイシンプレストンが最初で最後。2歳マイル王はクラシックへ進むケースが多く、近年は出走自体も少ないことがその要因に挙げられる。とはいえ今年アドマイヤズームがここを始動戦に選び、四半世紀のブランクに終止符を打てるかが焦点に。圧倒的な支持(単勝1.7倍)を背負い、勝利まであと一歩と迫った同馬だが、その前には打倒候補の筆頭格と目されていたイミグラントソングが立ちほだかった。

内枠から勢いよく飛び出し、先手を奪ったベイビーキッズは緩みのないラップを刻んでレースを先導。馬群がバラけ、縦長の隊列が形成されていくなか、アドマイヤズームは先頭から8馬身ほど離れたら番手を進む。3番人気に支持されたダリア賞の勝ち馬ブリティディーヴァは中国馬群の後方を追走イミグラントソングの石川裕紀人騎手もゆつくりとしたスタートを切った馬を急かさず、その2馬身ほど後ろで末脚を温存した。

一時は5馬身余りのリードをつけて逃げたベイビーキッズの脚勢は勝負どころで鈍り、すかさず好位勢が接近。石川騎手も徐々に位置を上げ、前を射程に収めて4コーナーを回る。迎えた直線、馬場の真ん中に進路を取ったアドマイヤズームは坂下で先頭に立ち、押し切りを狙ったが、その外へ持ち出されたイミグラントソングはこれを凌駕する末脚を発揮。2歳マイル王をキツチリと捉えてゴールに飛び込んだ。

マクフィ産駒の本馬はデビュー2戦目の未勝利戦を5馬身差で圧勝、暮れのひらぎ賞でもレコードで逃げ切ったデンクマールに詰め寄り(2着)、素質の高さをアピールした。年明け初戦の1勝クラス戦はスローの瞬発力勝負が合わなかった印象で3着に敗れたものの、ペースが流れた重賞で鮮やかに変身。及第点の走りは見せた2歳マイル王を鋭く差し切り、本番の有力候補に名乗りをあげた。